

マイキーフラットフォームに 期待すること



2016年 3月 24日
藤沢市
大高 利夫

1. マイナンバーによる、
 - ・国民の利便性向上
 - ・業務の効率化
 - ・公平公正な社会の実現



2. マイナンバーカードの利活用



3. マイナポータルを活用



IT装備都市研究事業(H13~18)

**ICカード
実証事業**

この事業は、国(経済産業省)が『ICカードの普及等によるIT装備都市研究事業』として全国に公募したもので、多くの応募があった中で、藤沢市を含む21地域が採択となり、国の支援により実施するものです。

IT革命を強力に推進するため、ICカードを中心とした情報システムを複数の地域において広く普及し、その効果等を検証することにより、ICカードの技術的側面や社会的側面などの方向性を見出し、今後の行政分野における本格的な導入を円滑に進めることを目的としています。

藤沢市における実証事業

1. 市民病院 診療券(診察券)

ICカードの診察券により、藤沢市の国民健康保険の被保険者であることが確認できます。

2. スポーツ施設予約システム

街頭端末は、「ICカードの普及等によるIT装備都市研究事業」によりICカードを活用する目的で設置されました。

ICカードを挿入することにより、スポーツ施設の抽選申込・当選確認・空き状況照会などができます。事前にICカードの登録とパスワード設定が必要となります。

3. ICカード利用環境の整備

ICカード対応窓口の端末の整備
市民利用街頭端末機の設置

自宅のPC接続用ICカードリーダーの貸与

市民病院診察券+スポーツ施設利用者証を**一枚のICカードで集約**できる。
また、診察券において、国民健康保険の被保険者の資格確認が行える。
スポーツ施設の予約が、街頭端末機や自宅のパソコンでできる。

課題: **ICカード対応機器の普及**

診察券においては、ICカード券面に、予約日の記入欄が必要

藤沢ポイント制度の検討

全庁的なポイント制度の構築に関する検討
様々な分野においてポイント制度によるインセンティブが
求められている。

1 ポイント制度に関する現状

- ア 介護ボランティアポイント制度
(いきいきパートナー事業)紙のポイントカード
- イ 健康ポイント制度
- ウ その他の地域ポイント制度

2 全庁的なポイント制度を導入する主な目的

(1) 事業参加インセンティブの付与

様々な市主催事業やボランティア活動などに、市民が参加しようという意欲を増すインセンティブ(誘因)として、ポイント制度を全庁的に推進すること。

(2) 市民視点でのポイント制度の共通化

ポイント制度の推進に当たり、市民にとって分かりやすく使いやすい制度とするため、ポイント制度を全庁的にできる限り共通化すること。

(3) 地域産業の活性化, 地域の助け合いなど, 地域循環型ポイントシステムの構築

ポイント制度の有効性, 持続可能性を高めるため, 貯まったポイントを地域商品券や地元名産品と交換できる仕組みや, ポイントを公益的な基金等へ寄付する仕組みを設けるなど, 地域産業の活性化, 地域の助け合いなどに寄与するポイント制度を構築すること。

3 全庁的なポイント制度を導入するに当たっての主な課題

- (1) ポイント付与の事業参加インセンティブとしての有効性
- (2) ポイント付与の基準設定
- (3) ポイント付与や機器リース等にかかる財源

4 全庁的なポイント制度の導入案

制度設計に当たっての視点

- ア 幅広い分野でのポイント制度対象事業を行うといった事業規模の拡大と統一性
- イ 市民視点での分かりやすさや利便性
- ウ 地域産業の活性化や地域の助け合いなど地域循環型の制度構築の可能性・拡張性
- エ ポイント付与、ポイント交換の簡便性
- オ コスト面の優位性(初期費用、ランニングコスト)

5 今後の取組

昨年11月に実施した、「ふじさわ環境フェア」でのポイント付与の実証実験の結果や動向を踏まえ、関係各課や関係団体と連携し、制度の詳細設計を進める。

ポイント制度の共通化

- ・紙のポイントカード
- ・ポイント制度対象事業の拡大

ポイント制度対象分野

- ・市民のボランティア活動
- ・介護予防、健康づくり分野
- ・省エネ活動などの環境分野

地域循環型ポイントシステム

- ・地域産業の活性化
- ・地域の助け合い

藤沢市高齢者福祉
いきいきパートナー事業とは？



1. 事業概要

本事業に参加登録した藤沢市内に住所を有する、65歳以上の介護保険第1号被保険者で、要支援・要介護の認定を受けていない市民(パートナー)が、市が指定した施設等において、ボランティア活動を行った場合にポイントを取得し、パートナーが申し込むことで累積ポイントを支援金(現金)へ転換(換金)できるものです。

なお、本事業は社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会(市社協)が市からの受託者として実施しています。

2. ボランティア活動

(1) 活動内容(主なもの)

- レクリエーションの補助
- お茶出しや配膳・下膳等の補助
- 話し相手
- 洗濯物の整理やシーツ交換の補助
- 行事の手伝い



(2) 活動場所

パートナーが活動を行う場所は、市内の特別養護老人ホームや養護老人ホーム、介護老人保健施設、デイサービス施設、グループホーム、障がい者施設等のうち、市が指定した施設等です。

いきいきパートナー事業受入施設等登録一覧(2016年3月10日時点)

3. ポイント

パートナーが受入施設等においてボランティア活動を行った場合、市が指定した施設等の担当者が活動内容を確認し、当該パートナーのいきいきパートナーカード(カード)へ活動日を記入し、スタンプにより記録してポイントが付与されます。

1日に行う活動(概ね1時間以上の活動)を1活動とし、1活動に対し1ポイントとして付与します。同一のパートナーが可日中に異なる施設において活動しても、複数のポイントは付与されません。ポイントを支援金へ転換する場合は、1ポイントを100円として最大で年間50ポイント(5,000円)までとします。

マイキープラットフォームによる地域活性化方策検討会

1 目的

マイキープラットフォームによる地域活性化方策検討会は、地域活性化の道筋を明らかにする「マイキープラットフォームによる地域活性化戦略案」の構築を目的とします。

2 検討内容

地域活性化への道筋を明らかにするため、以下の項目を検討します。

- ①住民視点での行政サービス再編・業務改革
- ②新たな商店街振興策を軸とした地域経済活性化
- ③多様なサービスイノベーションによる地域経済好循環拡大への期待

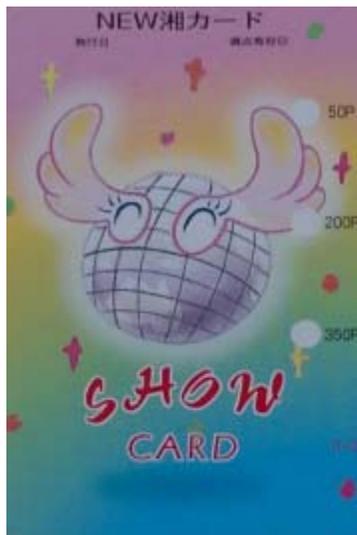
・マイナンバーカードの普及（交付枚数）

・消費税や軽減税率をきっかけに、マイキープラットフォーム利活用環境の整備==> カードリーダー等
機器の普及

・既存サービス事業者との連携

共通ポイント制度の構築に関する
検討における課題と共通点が多い

湘南台東口商店街協同組合 湘南台東口商店街の 「湘カード」



Q.満点になったカードの使い方は？

- 加盟店で500円分のお買物が出来る
- さまざまなイベントへの参加券になる(ガラポン)
- 地元金融機関 (八千代銀行湘南台支店)で500円分の預金出来る

Q.ポイントって、なに？

加盟店でお買物のとき、100円につき1ポイント分印字します。
500ポイントで満点カードになります。



湘南台東口商店街のブログ

藤沢市北部の湘南台。
小田急線、相鉄線、市営地下鉄と3線が乗り入れ、慶応大・多摩大・文教大の学生の街・文化センター・プラザ・湘南台公園・図書館と充実の施設。
明るく元気な賑わいのある商店街に盛りたてていければと思います。

藤沢市の商店会

藤沢周辺エリア

本町白旗商店街振興組合
遊行通り4丁目商店街振興組合
協同組合藤沢銀座土曜会
南銀座一番街
弥勒寺商店会
391ビル商店会

本町隆盛会
遊行通5丁目商店街振興組合
サンパール藤沢商店会
南口ファミリー通り商店街振興組合
柄沢橋商店会
南口オークスモール商店会

遊行通り2丁目商店会
協同組合柳通り睦会
南口本通り商店会
藤沢南口らんぶる商店会
南藤沢イータウン
南仲通り商店会

藤沢北部エリア

用田商栄会
湘南台東口商店街協同組合
善行駅前新栄会

長後商店街協同組合
湘南地域振興会
善行商店会

湘南台商店連合会
六会商店会

辻堂・大庭エリア

湘南銀座商店街振興組合
辻堂新町商店会
辻堂海岸商店会
TerraceMall湘南テナント会

湘南辻堂商店会
湘南辻堂商栄会
協同組合湘南ライフタウンショッピングセンター

辻堂元町商店会
プチモール東海岸協同組合

鶴沼・片瀬・江ノ島エリア

片瀬竜ノ口商店街振興組合
江ノ島観光会

片瀬中央商交会
本鶴沼商店街協同組合

片瀬すばな通り商店会
鶴沼海岸商店街振興組合

「商店街に対する市民の意識調査アンケート」

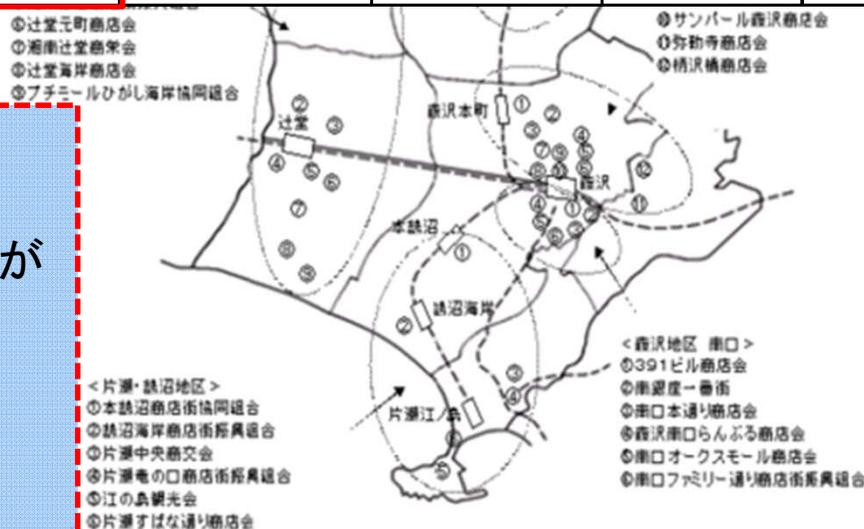
2012年(平成24年)10月実施
公益社団法人藤沢市商店会連合会、藤沢市

主な買い物場所について



	対象者数	回答数	1 地元商店街	2 市内大型店	3 市外商店街	4 市外大型店	5 その他	無回答
市内全体	2,525	2,980	663 (22%)	1,797 (60%)	46 (2%)	236 (8%)	164 (6%)	74 (2%)
男性	527	611	138 (23%)	374 (61%)	8 (1%)	56 (9%)	25 (4%)	10 (2%)
女性	1,795	2,130	461 (22%)	1,315 (61%)	35 (2%)	164 (8%)	132 (6%)	23 (1%)
無回答	203	239	64 (27%)	108 (45%)	3 (1%)	16 (7%)	7 (3%)	41 (17%)

最もよく利用する買い物場所として、地元商店街が全体の2割、市内大型店が全体の6割を占めました。また、当該結果に性別による相違はほとんどありませんでした。



マイキープラットフォームに 期待すること

公的個人認証の利用者証明書を活用し、
マイキープラットフォームと連携する予定

↳ 携帯電話、スマートフォン等による電子証明書の持ち歩きの検討

- ・カードの普及、環境の整備が進んでいること
カードリーダー等機器の普及(スマホ、タブレット用)
ポイント付与や機器リース等にかかる財源
- ・ポイント付与、ポイント交換の簡易性
マイナンバーカード1枚で、たまったポイントを、公共施設や商店街などで使えるようにする。
- ・既存サービスの仕組みを利用できる。
施設予約、図書館、病院診察券等との連携が容易であること。
- ・カード1枚に集約される利便性を実感できる。



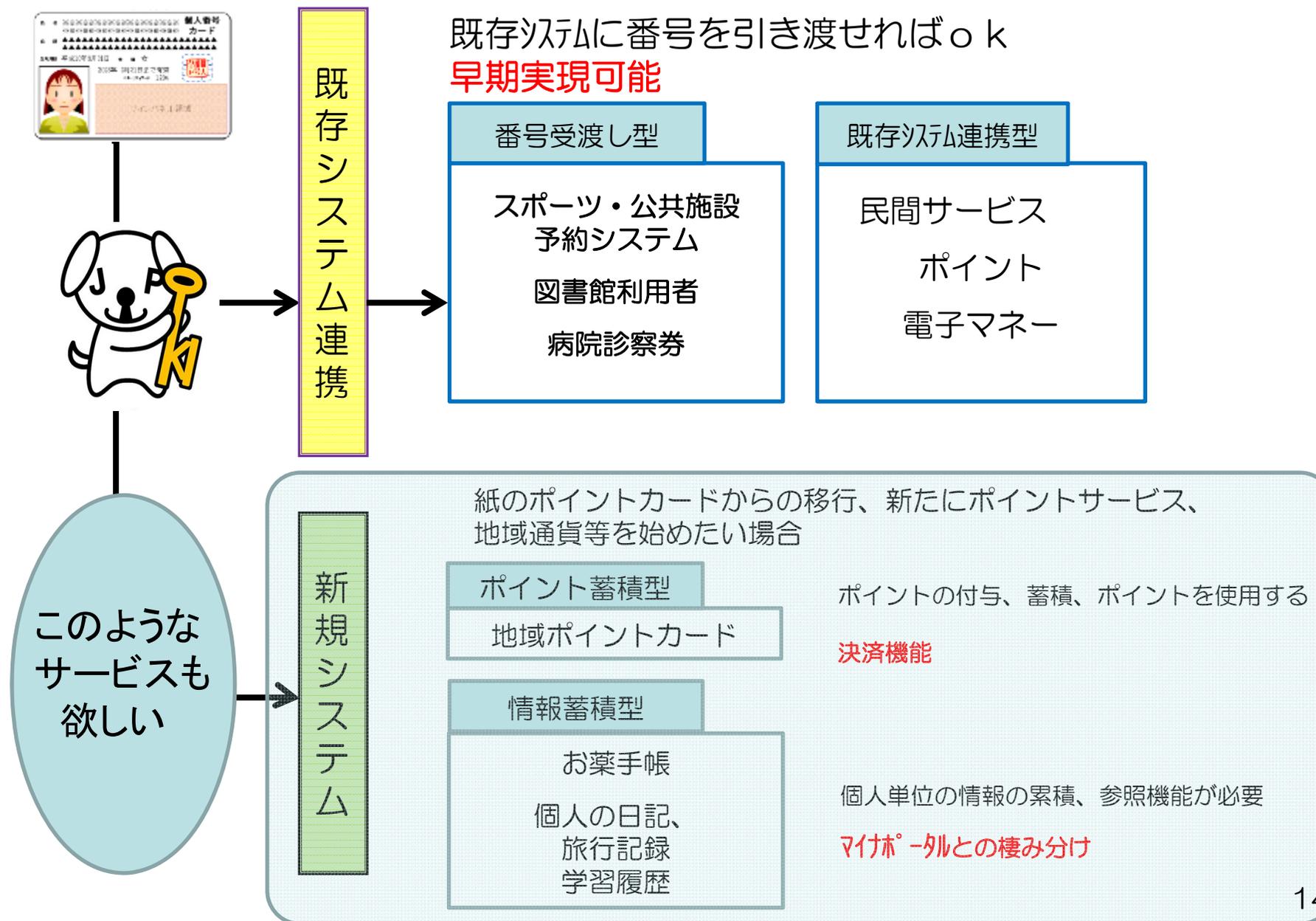
自治体と商店街を、 導入する気にさせるために



- 初期導入経費 **経費**
- ランニングコスト
- 利便性を実感できること **利便性**
(地域活性化に効果があること)
- 環境が整っていること **普及**
(カード・機器が普及していること)



マイキープラットフォームの利活用



マイナンバー制度導入後の将来

総合窓口サービス

条例による独自利用

ワンストップサービス

プッシュ型サービスの充実

番号制度を活用した自治体業務の実現

番号制度の導入目的と効果を実現するために事務の見直し

地方公共団体における個人番号を活用した情報連携のあり方

マイナンバーカードの多目的利用
(マイキープラットフォーム、公的個人認証)

電子自治体の実現

